

成果の説明書

(氏名) 夏莉 佐宜	(学部) 経済学部
1 重要事項	
A. 研究活動	
1) 個人研究	
英語教育と第二言語習得に関して研究を続けています。主な活動は以下の通りです。	
- 前年度から引き続き、タスクと語彙習得に関する先行研究を統一的に調査し、執筆を継続しています。	
- 前年度のタスクと語彙習得に関する予備調査を基にし、インプットを主体とした言語習得に関する研究をスタートし、データと収集しました。分析は、2022年4月以降にスタートする予定です。	
- AILA (International Association of Applied Linguistics) World Congress 2021 (August 15-21, 2021, University of Groningen, Netherland) にオンラインで参加しました。	
2) 学会活動	
参加している英語教育に関する学会や学会の研究会で以下の活動をいたしました。	
- JACET SLA 研究会の公開講演会 (2021年5月22日、オンライン開催) に参加しました。	
- JACET SLA 研究会の研究会 (2021年6月26日、オンライン開催) にて、Ellis, et al. (2020) の Task-Based Language Teaching: Theory and Practice 第1章を紹介し、TBLTの発展過程について議論しました。	
- JACET SLA 研究会の研究会 (2021年10月31日、オンライン開催) にて、Ellis, et al. (2020) の Task-Based Language Teaching: Theory and Practice 第8章を紹介し、タスク実践のオプションについて議論しました。	
- The JACET 60 th Commemorative International Convention (Online, 2021, Aug 27-29) に参加しました。8月27日にはSLA研究会として、JACET Hours 1 SIG Poster Sessions A の中で「SLA研究の成果を英語指導の場に取り入れる試みー現状と課題」という題目のもと、パネルディスカッションを実施いたしました。	
- 英語コーパス学会第47回大会 (2021年10月2日、オンライン開催) に参加しました。	
B. 教育活動	
英語部会としてカリキュラムの運営に従事し、以下の活動を行いました。	
- 2021年度のカリキュラム運営に関する業務全般	
- 2022年度のカリキュラム運営に向けての準備	
2 その他の事項	
英語担当者として General English I, II (Pre-Intermediate)、Business English III, IV (Intermediate) のコーディネーター業務をいたしました。	

3 次年度以降の計画・抱負

2021年度は自身の学びを深めることのできた一年となりました。次年度は、続いている研究について一つしっかりまとめてまいりたいと思います。

教育活動としては、オンライン授業から対面授業に戻ったことで発生する活動制限（例えば、ペアワークやグループワークなど発話をともなう活動に対する配慮）など、新たなチャレンジがありました。第二言語習得や英語教育法の知見を取り入れながら、次年度以降の授業改善に努めたいと思います。また、英語カリキュラムの改良についても引き続き努めたいと思います。